

- ・ 2回培土を確実に実施し、初期生育を確保しましょう
- ・ 培土後、発生している雑草の種類を確認し、除草剤を適切に使用しましょう

1 培 土

- ・ 培土の効果が高めるため、2回培土を確実に行いましょう。

培土の効果(一石四鳥！)

- ・ 根域拡大、根粒の増加
- ・ 雑草抑制
- ・ 排水の促進
- ・ 倒伏防止

<1回目>

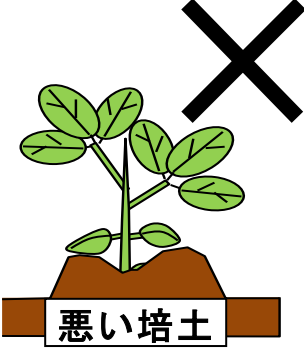
本葉2～3葉期
(播種後 20～25 日頃)
子葉が埋まる程度

初生葉
子葉

<2回目>

本葉4～5葉期
(播種後 30～35 日頃)
初生葉が埋まる程度

株元までしっかり
土をかけよう！



悪い培土

【培土作業のポイント】

- ◆ 作業前に、培土板の調節や耕うん爪を必ず点検(擦り減った爪は交換)しましょう。
- ◆ 乾いたほ場から作業を行い、株元までしっかり土を寄せましょう。
- ◆ 培土でできた溝は、その日のうちに額縁排水溝や排水口にしっかり連結し、速やかに排水されるようにしましょう。

排水溝を連結！



2 雑 草 防 除

- ・ 雑草の種類を確認し、雑草に薬剤が十分かかるように散布しましょう。

表1 草種別除草剤

対象雑草名	薬 剤 名	使 用 時 期	使用方法	10a 当たり散布量	本剤使用回数
1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	ポルトフロアブル	イネ科雑草 3～10 葉期 但し、収穫 30 日前まで	雑草茎葉 散布又は 全面散布	薬量 200～300ml (水 50～100lで希釈)	2回 以内
1年生広葉雑草 (イネ科を除く)	大豆バサグラン液剤 注1)	大豆 2 葉期～開花前 (雑草生育初期～6葉期) 但し、収穫 45 日前まで		薬量 100～150ml (水 100lで希釈)	1回
1 年生雑草	パワーガイザー液剤	大豆出芽揃期～本葉 3 葉期まで (雑草発生始期～2葉期)	雑草茎葉 散布又は 全面土壌 散布	薬量 200～300ml (水 100lで希釈)	1回
	ロロックス 注2)	大豆 3 葉期以降、雑草生育期 (雑草草丈 10cm 以下) 但し、収穫 30 日前まで	畦間・株間 処理	薬量 100～200g (水 70～150lで希釈)	1回
	バスタ液剤 注2)	本葉 5 葉期以降、雑草生育期 但し、収穫 28 日前まで		薬量 300～500ml (水 100～150lで希釈)	3回以内

注1) 大豆バサグラン液剤は高温時の使用で薬害が出る恐れがあるため、高温が続くと予想される場合は使用を避ける。

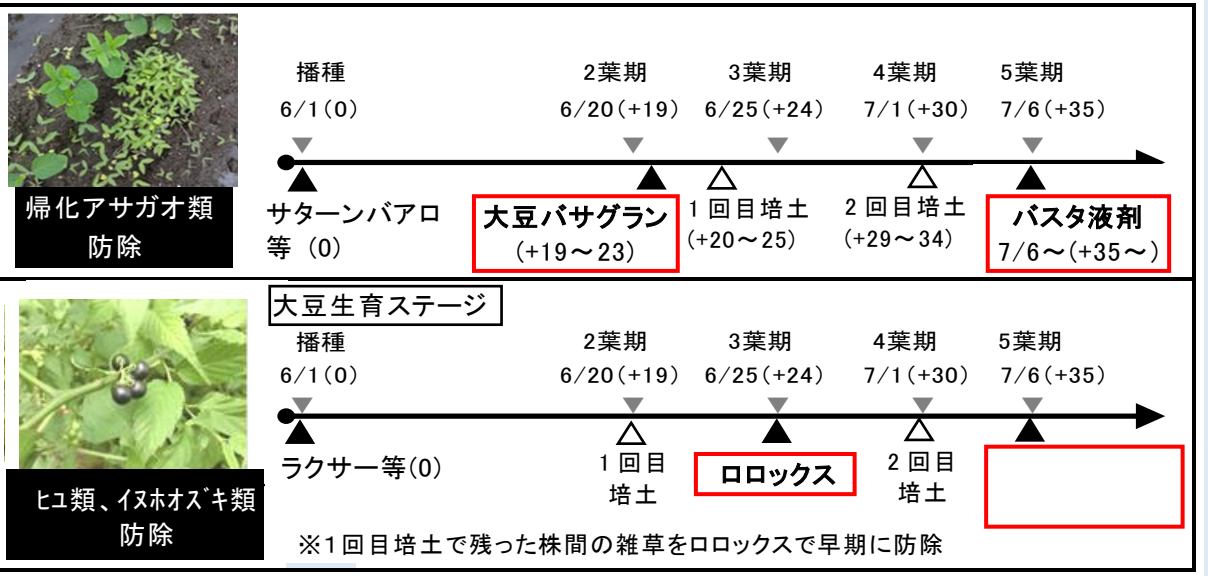
注2) ロロックス、バスタ液剤は非選択性除草剤のため、吊り下げの専用ノズルを使用し、大豆の葉にかからないように十分注意して散布する。

◎難防除雑草(帰化雑草等)の大豆ほ場へのまん延防止対策

管内では、近年、帰化アサガオ類やイヌホオズキ類等の難防除雑草の発生が増加しています！

- ・ 難防除雑草(帰化 雑草等)の発生がみられたら、雑草が小さいうちに手取り除草又は除草剤で早めに防除しましょう。
- ・ 抜き取った雑草はそのまま放置せずほ場外で適切に処分しましょう。
- ・ 刈り払う場合は、再生防止のために地際から行いましょう。

表2 難防除雑草(帰化雑草等)の大豆ほ場へのまん延防止体系



農作業の際は、適切な水分・塩分補給やこまめな休憩など、熱中症対策を徹底しましょう！